

NEWS RELEASE (2025年12月15日)取材依頼

令和7年度 レジリエント社会・地域共創シンポジウムを開催

「大規模火山噴火における災害医療の課題～多職種連携に挑む～」

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。次について取材方お願いいいたします。

【趣旨等】

鹿児島大学地域防災教育研究センターでは、令和7年度レジリエント社会・地域共創シンポジウム「大規模火山噴火における災害医療の課題解決に向けて～多職種連携に挑む～」を開催いたします。本シンポジウムは、桜島の大規模火山災害を想定した課題と対応策について多様な立場から検討することを目的としています。

第1部では、医療、リハビリテーション、薬剤、栄養、保健など各分野の専門家がそれぞれの立場から災害対応の取り組みや課題を紹介します。

第2部では、「多職種連携に挑む」をテーマに登壇者が一堂に会し、実効性のある災害医療体制や地域連携の在り方について意見交換を行います。

本シンポジウムを通じて、災害医療体制の充実と地域住民の防災力向上を図り、行政、医療・福祉・教育が一体となった地域防災力のさらなる強化を目指します。

【日時】

令和7年12月21日(日)

【場所】

鹿児島大学稻盛会館キミ&ケサメモリアルホール
(鹿児島市郡元1丁目21番40号)
会場とZoomによるオンライン同時開催

【対象】

どなたでもご参加いただけます。

【参加費】

無料

【プログラム内容】

第一部

13:10～13:20 「プロローグ-火山噴火災害に備える-」

解説:鹿児島大学総合教育機構共通教育センター 准教授 井村 隆介

13:20～13:30 「火山災害における医療支援体制～鹿児島県 DMAT の取組～」

鹿児島市立病院救命救急センター センター長 吉原 秀明

13:30～13:40 「災害時のメンタルヘルス支援～DPAT の取組～」

鹿児島大学病院 精神科認定看護師 吉井 洋之

13:40～13:50 「災害時のリハビリテーション支援活動～鹿児島 JRAT の取り組み～」

鹿児島県災害リハビリテーション推進協議会(鹿児島県 JRAT)

事務局 梅本 昭英

13:50～14:00 「災害時における薬剤師の支援活動とその体制

～能登半島地震の経験と展望～」

鹿児島県薬剤師会 常務理事・災害対策委員会副委員長 田中 孝明

14:00～14:10 「鹿児島県の管理栄養士による災害時の栄養支援活動」

公益社団法人鹿児島県栄養士会 理事・JDA-DAT

鹿児島統括リーダー 山下 雅世

14:10～14:20 「災害時の保健師活動～平時の備えと災害対応～」

鹿児島県保健福祉部健康増進課 技術補佐 上村 香代

第二部

14:30～16:00 パネルディスカッション

「多職種連携に挑む」

コーディネーター:松成 裕子(鹿児島大学医歯学域医学系教授)

パネリスト:登壇者(6名)

※このほか、会場には写真の展示と体験コーナーを設置

①桜島大正噴火関連の写真～AIによるカラー化～

②発災時と降灰中の避難行動のVR体験動画

③桜島火山版避難所運営ゲームの紹介

④鹿児島市桜島火山防災リーフレット等、資料コーナー

※天候や自然災害の影響により、日程が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

【問い合わせ先】

取材希望の場合は、12月18日(木)までに、下記担当までご連絡ください。

鹿児島大学地域防災教育研究センター
特任専門員 高橋 碧
Email: bousai_tokunin@km.kagoshima-u.ac.jp
Tel: 099-285-3629